

## 編集後記

二〇一三年度末をもって、文学会関係では沢井耐三、浅野俊夫、新津嗣郎、時実象一の四氏が退職される予定です。去る十二月十九日には、そのうち時実・沢井・新津の三氏による講演会が開催され、退職に花を添えることになりました。文学会への長年のご貢献、改めてお礼を申し上げます。

この冬は、例年よりも寒い期間が長く、試みに気象庁発表の九〇日平均気温を見ますと、北海道を除いたほとんどの地点で、平年値を〇・五度から一度ほど下回っていました。三年連続の「寒冬」は間違いないことでしょう。

とはいえ、本号が刊行されるころにはさすがに、春の訪れを感じさせるような時期になっているはずですが、それはまた同時に、文学会が新たな人を得て活動を続けていく時期に当たります。今後の文学会の活動にも、ご理解ご協力をよろしくお願いいたします。(C)

平成二十六年三月一日 印刷  
平成二十六年三月二十日 発行

編者 愛知大學文學會  
代表者 伊東利勝

印刷所 岐阜市三輪ふりとぴあ3  
株式会社コームラ

発行所 豊橋市町畑町  
愛知大學文學會